

IAEA チームは福島第一発電所の廃止措置計画 に対する第3回レビューを完了【仮訳】

2015年2月17日

本日 IAEA 専門家チームは、日本の福島第一原子力発電所の廃止措置計画およびその実施状況に関する第3回目のレビューを完了した。

「東京電力(株)福島第一原子力発電所 1~4 号機の廃止措置に向けた中長期ロードマップ」に対する国際ピアレビューは、2015年2月9日から17日にわたり実施された。

15人の参加メンバーは、事故を起こした発電所及び安全な廃止措置の進展に伴う放射線リスクの低減に向け計画された対策の実施が、進展していることを高く評価した。

「我々の前回のミッションから日本は、著しい進展を達成している。発電所内の環境においては、発電所で除染が進んだことにより多くの場所で空間線量レベルが低減している」と IAEA 核燃料サイクル・廃棄物技術部長であるレンティッホ団長が述べている。「しかし状況は依然大変複雑であり、増大する汚染水を持続可能な状態に持って行くのが短期的課題である。損傷燃料及び燃料デブリを含む高い放射線量の使用済燃料を、メルトダウンした原子炉から取出すことは長期的な課題である」。

日本政府の要請により、チームは津波に襲われた発電所の廃止措置、放射性廃棄物管理、地下水対策及び増大する発電所内の汚染水、損傷燃料及び使用済燃料の取出しを含む廃止措置前及び廃止措置活動について、特に安全と技術側面に着目して多岐にわたる事項を評価した。ミッションはまた、2013年4月及び12月の前2回のミッションからの進捗もレビューした。

IAEA チームは、経済産業省、廃止措置を実施している事業者である東京電力、その他の関係機関職員と幅広い議論を実施した。チームは福島第一発電所も訪問して、現状及び廃止措置に向けた進捗に関する直接的な情報も収集した。

本日日本政府に手交した暫定サマリーレポートにおいては、チームは以下を含む福島第一の廃止措置に向けた数々の達成事項を認識した。

- ・ 発電所内の放射性廃棄物管理、廃止措置活動、の安全な実施に責任を有する唯一の組織である、福島第一廃炉カンパニーが2014年に東京電力の新部門として設立されたことは、責任の明確化に向けた適切な進歩である。
- ・ 指針となる廃炉戦略を策定するための国家組織として原子力損害賠償・廃炉等支援機構が設立されたことは、日本政府が前面に出る施策及び東京電力の発電所における幾多の困難に直面する東京電力の証左である。
- ・ 発電所の状況は、前回2013年のミッションから大きく改善している。以下を含む多くの重要なタスクが完了した。

— 4号機からの使用済燃料の取出完了

- － 汚染水処理システムの改良及び拡張
- － 汚染水を貯蔵する新改良型タンクの設置
- － 地下水バイパスの運転開始
- － 発電所内除染及び労働被ばくの低減

IAEA チームは日本が廃炉の安全と放射性廃棄物の管理を確実にする戦略の実行と強化を継続することを奨励する。状況を大変複雑にしている課題事項は、以下を包含する。

- － 原子炉建屋等に複雑に流入する地下水及び発電所内で増大する汚染水貯蔵量
- － 長期の放射性廃棄物管理
- － 使用済燃料、損傷燃料及び燃料デブリの取り出し

これに加えて IAEA チームは、現在の実施状況を改善するアドバイスも行った。例えば、

- ・ 全ての関係者は、発電所に現存し、廃止措置工程の進展に伴い発生が予想される大量の放射性廃棄物の長期的な管理の重要な要因となる、発電所の将来像を模索し続ける必要がある。
- ・ 長期にわたる廃棄物管理戦略がステージ毎に相互にどのような影響を及ぼすかを考慮しつつ、東京電力は、廃止措置と放射性廃棄物管理に関する統合された計画を作定することが奨励される。
- ・ IAEA チームは、現在の汚染水の貯蔵は一時的な手段であり持続的な解決策が必要と考える。IAEA チームは、前回のミッションでなされた当該アドバイスを繰り返し行った。

「前に控える道筋は長く複雑で課題も多い。」とレンティッホ部長は語った。「日本が一步一步進捗し、各種の計画が形作られてきていることは歓迎すべきことだ。安全最優先を維持し、原子力発電所の廃止措置の全ての段階を進めることが重要である。」

IAEA チームは、当該報告書の最終版を 3 月末までに日本に発出する計画である。

ミッションに関する日本のリクエストは、2011 年 9 月に IAEA メンバー国により採択された「原子力施設安全の関する IAEA アクションプラン」に基づいている。当該アクションプランは、世界の原子力施設に関する安全枠組みを強化し世界的経験を最大限獲得するために、ピアレビューの活用を奨励している。

暫定サマリーレポートを含む追加的な資料は、IAEA ウェブサイト - www.iaea.org - にて利用可能である。

さらなる情報は、Susanna Loof, IAEA Press and Public Information Office at press@iaea.org または +43 699 165 22046 まで。